

平成22年度第2回小国町地域公共交通会議 会議概要

- 1 日 時 平成22年11月24日（水）午前10時30分～11時30分
- 2 場 所 おぐに開発総合センター 集会室
- 3 出席委員 小林新太郎、山口修一、安部春美、本間芳夫、伊藤正夫、加藤豊一、安部忍、横山隆、島貫久壽、福原道彦、兼平悟、石井真吾、齋藤一、槇秀彦、関博昭、渡部三典、鈴木重雄（代理）、渡部敏明（代理）

4 内 容

- (1) 足中線及び白沼線におけるデマンドタクシー実証運行事業の実績及びアンケート調査の結果について

事務局より実績数値及び沿線住民に対して実施したアンケート調査の結果について報告をおこなった。それぞれの報告の概要は以下のとおり

①実績について

- ・足中線及び白沼線ともに運行率はほぼ100%である。
- ・利用者数はほぼ70歳以上である。
- ・運行委託料は当初予算からみて抑えた形で運行できている。
- ・毎週利用している方はおらず、多くても一ヶ月に数回程度である。

②アンケート集計結果について

- ・回答率が83.5%と比較的高い回答率であった。
- ・これまでの町営バスと比較して利用しやすくなったと回答した方が利用しづらくなったと回答した方に比べて多い数字となっており、実証運行事業については概ねうまくいっていると判断される。
- ・好評な点については、家の前まで送迎してくれること、運転手の対応がいいことが主なもので、不評な点については電話で予約をしなければならないことが主なものであった。またその他の意見として今は利用していないが、今後利用したいという方も多かった。

以上の説明の後、以下の質疑応答があった。

【交通会議委員】

アンケート集計結果で、利用したことがある方に対する町営バスとの比較についての質問で白沼線沿線住民のうち7名の方が利用しづらくなったと回

答しているが、このことについて説明をお願いしたい。

【事務局】

利用しづらくなると回答した7名のうち伊佐領地区で4名、箱の口で2名である。このことは、これまで町営バスでは、伊佐領、箱の口までは毎週火、水、金の週3日運行であったのが、水、金の週2日運行となったことによる不便さが現れたものだと考えている。伊佐領、箱の口地区については米坂線が走っており、他の地区と比べて公共交通の面では恵まれている部分もあり、運行経費の節減を図る上でもできるだけ米坂線を利用してもらうこととして、減便したところである。

(2) 平成23年度の足中線及び白沼線におけるデマンドタクシー本格運行の実施について

今年度の実証運行の結果が概ね良好であると判断されるため、来年度より両路線におけるデマンドタクシーの本格運行を実施することとして提案した。本格運行への移行に伴って、今年度の運行に加え、両路線共に電興診療所を経由することとし、白沼線については黒沢地区についても経由することとした。また黒沢地区への経由に伴って、白沼線の料金表に黒沢の料金を追加した。

その他の部分については、今年度と同様に実施することとした。

以上の説明の後、委員より以下の発言があった。

【交通会議委員】

家の前まで送迎してくれるので、買い物をして荷物がたくさんあるときなども非常にたすかっているという声をよく聞いており、来年度も是非継続してやってほしい。

以上の発言の後、異議無く了承された。

(3) 足中線及び白沼線における道路運送法第79条の規定による登録を受けて運行する路線バスの廃止について

デマンドタクシーの本格運行に伴って、これまでの足中線、白沼線の路線バスを廃止する手続きが必要となり、そのためには交通会議での了承が必要になるため、その旨説明を行い、異議無く承認された。

(4) 平成23年度のデマンドタクシー運行路線以外の路線における改正点について

利用者の利便性の向上を目的として、北部線については小渡～沖庭小前の区間については住宅が多くある経路とすることとし、南部線、東部線、大滝線、循環線については電興診療所を経由することとして説明を行った。

説明の後以下の質疑応答があった。

【交通会議委員】

フリー乗降の区間については警察の確認、また新たな路線となる道路の管理者には確認を行っているか。

【事務局】

まだ確認は取っていないが、この会議で了承をいただけたならば確認を行うようにしたい。

以上の質疑応答の後、異議無く承認された。

(5) その他について

①南部線の運行時間帯の変更について

②金目線の運行時間帯の変更について

事務局より南部線の始発便を米坂線小国駅発8:01の列車に接続できるよう始発場所を梅花皮荘から泡ノ湯に変えることでダイヤの変更を行うこととし、ダイヤの変更を平成23年1月1日から実施したいこと、また金目線については、来年度から金目地区に小学生がいなくなるため、午後の便を中学生の下校時間に合わせた形で運行したいことを説明した。

南部線の運行時間帯の変更については、実際に孫が利用している横山隆委員からも問題ないとの発言をいただき、南部線及び金目線の運行時間帯の変更については異議無く承認された。

その他、交通会議委員より12月4日にJRのダイヤ改正があり、米坂線については米沢行き6:09の列車が6:02と7分早くなるとの発言があった。